

## 令和4年度事業報告

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の流行による参加人数の制限などが継続しており、コロナ禍前と同様の事業実施が難しい状況下にありました。その中でも、語学文化講座、日本語教室、多文化理解講座など、感染対策をとった上で計画し、夏に予定していた子ども向け講座「キッズサマースクール」の延期以外は予定どおり実施することができました。そのほか、多言語情報の発信や生活相談、翻訳依頼などに対応しました。

### 公益目的 地域国際化事業

#### I 国際化に関する事業

##### ・ 国際協力貢献

主に、翻訳事業を実施しました。個人からの依頼は、出身国大使館に提出するための戸籍謄本など日本語の書類から英語への翻訳、年金や児童手当受給のための英語、中国語から日本語への翻訳などです。また、中国の交流のある都市との挨拶状のやり取りについても言語文化サポーターの協力を得ながら翻訳対応しました。特に個人の翻訳依頼に関しては、必要に応じて利用者への情報提供も行い、不公平や不利益が生じないように努めました。

##### ・ 語学文化講座

柏崎市市民プラザの利用人数制限もあり、参加人数を制限して実施しました。英語を3クラス、韓国語を1クラス、時間は90分としました。中国語は、実施の計画ではありましたが、春期は応募者が少ないため開講せず、秋期以降は募集しませんでした。講師については、年齢性別によらず真に教授能力のある方をお願いしました。内容については、受講生が言葉や文化を深く理解する講座となるよう依頼しています。

	初級英会話昼	英会話昼	英会話夜	韓国語	計
春期（10回）	10（100）	6（60）	14（140）	11（110）	41（410）
秋期（12回）	12（144）	6（72）	14（168）	12（144）	44（528）
冬期（8回）	14（112）	8（64）	12（96）	5（40）	39（312）
計	36（356）	20（196）	40（404）	28（294）	124（1,250）

※（ ）内は延べ人数

※韓国語講座については、冬期に初心者向け講座、次年度の春期、秋期に継続講座として実施する。

##### ・ 多文化理解

#### 【日本文化体験講座：笹団子づくり】

日本文化体験講座「笹団子づくり」を6月26日に市民プラザで実施しました。参加者は、日本語教室の生徒や留学生などアメリカ、インドネシア、韓国、中国、ベトナムの5か国17名でした。高柳で活動する山中みどりの会小山ユキエ様ら3名に講師を務めていただき、ヨモギを摘むところから実際にゆでるところまでの作り方を詳しく御紹介いただきました。その後、事前に準備されたヨモギ餅であるこを包み、笹で巻くところまで体験しました。言語文化サポーター3名にも、後片付けなどで協力してもらい、実施することができました。地産地消、郷土の料理に親しみ、柏崎を知ってもらう良い機会となりました。

#### 【ことばと文化：英語、韓国語、中国語】

外国語や文化を学びたいという初心者の方々に向けて、「はじめの一步」を踏み出すための講座として、英語、韓国語、中国語の3か国語の講座を実施しました。それぞれネイティブスピーカーを講師とし、英語には、ガールスカウト新潟県第一団のメンバー2名と言語文化サポーター1名による通

訳、韓国語には、昨年度の語学文化講座参加者6名、中国語には（公財）新潟県国際交流協会の留学生交流推進員2名がボランティアとして参加しました。いずれも、講師と参加者をつなぐ役目を果たし、参加者からは、「とても分かりやすく説明してもらった」「緊張感が和らいだ」など好意的な感想が寄せられました。

実施日	講座名	内容	参加者数
7月30日	英語	アメリカの文化、ゲームを通してやさしい英語に親しむ	11
8月6日	韓国語	ハングル文字の仕組み、SNS投稿のための韓国語	16
8月7日	中国語	福建省と重慶市の紹介、やさしい中国語に触れる	10

### 【多文化共生=(イコール)持続可能な地域づくり ～コミュニケーションは日本語でOK!～】

10月1日に帝京大学日本語教育センター有田佳代子教授をオンライン講師としてお迎えし、会場とオンラインのハイブリッドで講座を実施しました。有田先生からは、日本語教育学の観点から多文化共生社会を考えるに当たっての課題や「多様性」について、数値や身近な例を挙げて分かりやすくお話いただきました。その後、参加者はグループに分かれて、感想や意見を交換しました。自分の体験に重ね合わせて語り合う姿が印象的でした。

### 【国際理解セミナー アジアから世界を知る! 「枯渇性エネルギーから自然エネルギーへ～中国の動向～」】

10月22日に柏崎市市民プラザにて、（公財）新潟県国際交流協会と共催で、国際理解セミナー「アジアから世界を知る!」を開催しました。新潟産業大学絹川ゲニイ教授に「枯渇性エネルギーから自然エネルギーへ～中国の動向～」と題し、御講演いただきました。自然エネルギーの仕組み、中国の動向、世界の動向を分かりやすく解説していただきました。

### 【やさしい日本語でやってみよう! 外国人への窓口対応】

11月20日に（公財）新潟県国際交流協会、柏崎市との共催で、自治体職員等向けのやさしい日本語での窓口対応を学ぶ講座を実施しました。講師は、一橋大学 森有礼高等教育国際流動化機構 国際教育交流センター 柳田 直美准教授、参加者は柏崎市職員を中心に40名でした。当協会は、自治体窓口利用の外国人のモデルとして、言語文化サポーターの参加をコーディネートしました。

### 【「多文化防災シンポジウム～日頃防災:できなかったことを「できる」に変える～」】

12月4日に中越沖地震の体験をいかして、外国人の災害時対応や防災について考えることを目的として実施しました。主な内容は、次のとおりです。

第1部 講話:多文化共生マネージャー清水由美子氏

第2部 外国人の方の体験発表(2名)・支援者(1名)

第3部 グループワーク(26名・3グループ)

グループワークでは、言語文化サポーターの協力もあって、活発な意見交換会になりました。参加

者

の方からは、「中越沖地震の時の避難所のことが具体的で参考になった」「外国人の方の考えを直接聞くことができた」「情報が大事。やさしい日本語についてもっと知りたい」、「普段から交流したい」などの感想がありました。

### 【キッズウィンタースクール:アート&ミュージック】

小学生対象に、キッズサマースクール「アート&ミュージック」を8月6日に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の市内感染状況等を鑑み、延期することとしました。冬休み期間の12月26日にウィンタースクールとして、同様の内容で実施しました。ボランティアとして新潟県ガールスカウト第一団の方々、インドネシアについては、市内で働く技能実習生の支援を得て、国の紹介、バリ島の踊りの披露、手の動きの体験、ゲームでの交流をしました。アメリカ出身の講師

からは、フィンガーペインティングで季節のカードを英語でのメッセージで作ることを教わりました。楽しく一緒に活動することで、2つの国の文化や言葉に親しみ、アンケートには「今まで知らなかったことが分かった」「来年も参加したい」などの記述がありました。

### 【ネパール・スパイスカレー】

3月3日に言語文化サポーターとして活動しているネパール出身の新潟産業大学学生が講師となり、自身の民族が作る「スパイスカレー」と付け合わせの「アチャール2種」を作りました。キャンセル待ちが出るほどの人気講座で、最終的に参加者は18名でした。講師からはネパールの紹介や、スパイスのネパール語での呼び方も教わりながら、楽しくネパール文化に触れる機会となりました。

### 【多文化共生学校出前プロジェクト】

3校から申込みがあり、下記のとおり実施しました。講師は、言語文化サポーターや（公財）新潟県国際交流協会の留学生交流推進員、新潟県国際交流員などが務めました。コーディネートを当協会が担当しました。

実施日	学校名	内容	対象
8月24日 9月22日 9月30日	新潟県立 柏崎翔洋 中等教育 学校	9月30日に中国宜昌市の外国語学校日本語専攻の同世代の生徒とのオンライン交流を柏崎市が実施しました。当日の交流や事前準備のサポートを行いました。和やかに交流会は実施され、生徒からは、「中国語で自己紹介ができてよかった」「リハーサルでアドバイスをもらって、自信をもって発表できた」という感想がありました。 講師：新潟県留学生交流推進員1名（中国出身）	生徒会役員 生徒 (5年生中心4名)
10月6日	柏崎市立 第五中 学校	10月28日に中国峨眉山市の中学生とのオンライン交流を柏崎市が実施しました。そのための事前学習講座として中国の民族や世界遺産の紹介、中国語会話体験を実施しました。オンライン交流を控え、生徒の皆さんはとても熱心に取り組んでいました。 講師：言語文化サポーター1名（中国出身柏崎市在住） 新潟県留学生交流推進員1名（中国出身）	全校生徒 (33名)
12月8日	新潟県立 はまなす 特別支援 学校（中学 部）	ブラジル出身講師2名、通訳者1名とで、ブラジルのサンバや音楽、ポルトガル語の挨拶を体験する講座を実施しました。授業参観でもあり、生徒はもちろん、保護者の皆さんも一緒にサンバを踊り楽しく交流しながら文化に触れる機会となりました。 講師：言語文化サポーター（ブラジル出身）2名 言語文化サポーター（日本人通訳）1名	3年生 (生徒10名、保護者4名)
12月15日		韓国の文化を紹介し、歌やダンスを体験する講座を実施しました。講師に韓服を着てもらい、ダンスをするなど「目で見て分かる」「体験する」を大切に実施しました。終わりには、お互いに韓国語で挨拶をして、楽しい交流ができました。 講師：新潟県国際交流員 ユ ミンヒョン氏	1・2年生 (生徒13名)

## II 情報収集提供事業

### ・ 多言語情報運営

ホームページやフェイスブックを通して、情報を発信しました。主にホームページではイベント情報を、フェイスブックではタイムリーな情報を掲載し、発信しています。特に、フェイスブックでは熱中症の予防や新型コロナウイルス感染症の情報、防災関連情報など広報かしわざきの内容を参考にやさしい日本語や英語で発信しました。

### ・ 広報啓発

会員募集の案内を4月に配布、各種講座参加者へ会員加入のお願いなども実施し、団体は38団体、個人は107名に加入いただいております。団体、個人とも新規加入がありました。また、3月に柏崎市内町内会回覧として協会ニュースを発行しました。これまで多文化共生という考え方に触れたことがない方にも当協会の活動に興味を持っていただく機会となりました。

## III 活動協力育成事業

### ・ 人材育成

職員が各種多文化共生、外国人防災関連、やさしい日本語などに関する研修に参加しました。オンラインでも受講できる講座に関しては、できるだけオンライン受講としました。日本語教室の講師等日本語支援者は、長岡市地球広場主催の「日本語の教え方」講座に参加しました。

言語文化サポーター代表者を2回開催し、第1回は、ハイブリッド方式で開催し、防災をテーマとして、日頃どんなことが心配か、どんな支援や仕組みがあったらいいかなど、それぞれの出身国などの文化を踏まえて意見を伺いました。第2回では、情報発信の方法について、それぞれの言語、文化ではどのように伝えたら伝わりやすいか、よく利用するアプリなどを話し合いました。

### ・ 民間協力

当協会窓口で以下のものを収集しました。

◆ ステナイ生活協力 送付先：特定非営利活動法人シャプラニール

未使用切手・はがき、使用済切手、テレフォンカードなどは換金され、南アジアの人びとの生活向上を目指した活動にいかされています。

◆ 外国コイン募金 送付先：公益財団法人日本ユニセフ協会

外国コインは、世界の子どもたちの命と健康を守るための活動に使われています。

## IV 地域協働支援事業

### ・ 生活相談

177件の相談が寄せられました。内容は、当協会主催講座に関することや年金申請、新型コロナウイルス感染症対応、相続、離婚、近隣トラブル、勤務先とのトラブル等で、相談者も日本人（家族が外国人の方など）、外国人共におり、幅広くお受けしました。特に外国人個人に関する事柄については、慎重に話を聞き、必要があれば警察、法テラス、弁護士、外国人相談センター新潟などの関係機関で調査、照会をし、回答しました。

### ・ 日本語支援

アクリル板の設置、換気ができる広い教室を使用し、受講者には体温測定を義務付けるなど十分な対策を講じた上で、昼夜2講座各1時間ずつ実施しました。1月から3月の夜の講座は天候を鑑み実施しませんでした。参加者は、昼12名、夜15名でした。講師5名のうち3名は昨年度末以降に支援を始めた方で、講師会での研修や実地研修をしながら支援にあたりました。日本の文化体験を取り入れながら、初級者を中心に実施しました。

教育委員会から、小学校の児童への支援要請があり、新規で4校5名への支援のため日本語指導ができる言語文化サポーターを紹介しました。このほか、昨年度から継続して2校2名の支援を行いましたが、うち1名は7月末で支援が終了となりました。

貸借対照表  
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	23,122	0	23,122
預金	7,252,509	7,363,636	△ 111,127
未収金	8,000	0	8,000
前払費用	9,000	4,500	4,500
流動資産合計	7,292,631	7,368,136	△ 75,505
2 固定資産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
その他の財産			
コロナ禍対応事業積立預金	300,000	200,000	100,000
DX対応積立預金	200,000	0	200,000
退職給与引当預金	600,005	540,005	60,000
特定資産計	1,100,005	740,005	360,000
その他			
敷金	9,000	9,000	0
その他の固定資産計	9,000	9,000	0
固定資産合計	101,109,005	100,749,005	360,000
資産合計	108,401,636	108,117,141	284,495
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	34,300	0	34,300
預り金	151,629	169,407	△ 17,778
流動負債合計	185,929	169,407	16,522
2 固定負債			
退職給与引当金	600,005	540,005	60,000
固定負債合計	600,005	540,005	60,000
負債合計	785,934	709,412	76,522
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産	7,615,702	7,407,729	207,973
(うち当期正味財産増減額)	207,973	△ 503,895	711,868
正味財産合計	107,615,702	107,407,729	207,973
負債及び正味財産合計	108,401,636	108,117,141	284,495

公益財団法人柏崎地域国際化協会

貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人管理	合計
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	23,122	0	23,122
預金	1,802,318	5,450,191	7,252,509
未収金	8,000	0	8,000
前払費用	0	9,000	9,000
流動資産合計	1,833,440	5,459,191	7,292,631
2 固定財産			
基本財産			
有価証券	100,000,000	0	100,000,000
基本財産計	100,000,000	0	100,000,000
その他の財産			
コロナ禍対応事業積立預金	300,000	0	300,000
D X 対応積立預金	200,000	0	200,000
退職給与引当預金	0	600,005	600,005
特定資産計	500,000	600,005	1,100,005
その他			
敷金	0	9,000	9,000
その他の固定資産計	0	9,000	9,000
固定資産合計	100,500,000	609,005	101,109,005
資産合計	102,333,440	6,068,196	108,401,636
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	34,300	0	34,300
預り金	16,059	135,570	151,629
流動負債合計	50,359	135,570	185,929
2 固定負債			
退職給与引当金	0	600,005	600,005
固定負債合計	0	600,005	600,005
負債合計	50,359	735,575	785,934
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
地方公共団体出捐金	100,000,000	0	100,000,000
指定正味財産合計	100,000,000	0	100,000,000
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	0	100,000,000
2 一般正味財産	2,283,081	5,332,621	7,615,702
正味財産合計	102,283,081	5,332,621	107,615,702
負債及び正味財産合計	102,333,440	6,068,196	108,401,636

公益財団法人柏崎地域国際化協会

正味財産増減計算書  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異(当-前)
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産運用益	522,000	522,000	0
その他の財産運用益	6	4	2
受取会費			
賛助会員会費	570,000	527,000	43,000
事業収益			
国際化事業収益	1,589,367	1,202,524	386,843
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,850,000	5,850,000	0
雑収益			
受取利息	107	109	△ 2
雑収益	7,636	0	7,636
経常収益計	8,539,116	8,101,637	437,479
(2) 経常費用			
給与	4,276,800	4,216,800	60,000
臨時雇賃金	34,300	647,878	△ 613,578
法定福利費	704,738	732,809	△ 28,071
福利厚生費	23,390	23,699	△ 309
退職給付引当金繰入額	60,000	60,000	0
会議費	40,731	40,116	615
旅費交通費	166,284	30,540	135,744
通信運搬費	205,139	176,607	28,532
消耗什器備品費	473,000	0	473,000
消耗品費	375,857	307,338	68,519
印刷製本費	122,564	102,829	19,735
賃借料	304,885	282,164	22,721
諸謝金	1,472,059	1,480,185	△ 8,126
広告宣伝費	36,300	418,000	△ 381,700
支払負担金	20,000	20,000	0
雑費	15,096	66,567	△ 51,471
経常費用計	8,331,143	8,605,532	△ 274,389
当期経常増減額	207,973	△ 503,895	711,868
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	207,973	△ 503,895	711,868
一般正味財産期首残高	7,407,729	7,911,624	△ 503,895
一般正味財産期末残高	7,615,702	7,407,729	207,973
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体負担金等	5,850,000	5,850,000	0
一般正味財産への振替額	5,850,000	5,850,000	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	107,615,702	107,407,729	207,973





財 産 目 録  
令和5年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	公益財団法人柏崎地域国際化協会	運転資金として	23,122
	預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	4,931,969
		定期預金 柏崎信用金庫 本店	運転資金として	2,320,540
	未収金	柏崎市	翻訳料、ネイティブチェック料として	8,000
	前払費用	遠藤 聡子	4月分職員利用駐車場料金として	9,000
流動資産合計				7,292,631
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	有価証券	139回共同発行市場 公募地方債 みずほ証券	公益目的保有財産であり、運用益を国際化協会の事業及び管理目的の財源として使用している。	50,000,000
		149回共同発行市場 公募地方債 野村証券		50,000,000
その他の財産	コロナ禍対応事業 積立預金	定期預金 柏崎信用金庫 本店	アフターコロナに対応する事業のための積立金	300,000
	D X 対応積立預金	定期預金 柏崎信用金庫 本店	D X に対応する事業のための積立金	200,000
	退職給与引当預金	普通預金 柏崎信用金庫 本店	退職金支給に向けての積立金	600,005
その他	敷金	遠藤 聡子	駐車場を借りるための敷金 契約期間:令和5年4月1日から令和7年3月31日まで	9,000
固定資産合計				101,109,005
資産合計				108,401,636
<b>(流動負債)</b>				
	未払金		令和5年4月支給予定の令和5年3月中臨時雇い賃金	34,300
	預り金	職員、講座講師から預かっているもの	源泉所得税、市県民税、社会保険料等未払いのもの	151,629
流動負債合計				185,929
<b>(固定負債)</b>				
	退職給与引当金		退職金支給のための引当金	600,005
固定負債合計				600,005
負債合計				785,934
正味財産				107,615,702

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
満期保有目的の債券は、取得価格を採用している。

(2) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金預金及び前払費用、敷金、預り金を含めている。

2 会計方針

新公益法人会計基準によっている。

3 基本財産・その他の財産(特定資産)・その他の財産(その他)の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
有価証券	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
その他の財産(特定資産)				
退職給与引当預金	540,005	60,000	0	600,005
コロナ禍対応事業積立預金	200,000	100,000	0	300,000
DX対応積立預金	0	200,000	0	200,000
小 計	740,005	360,000	0	1,100,005
その他の財産(その他)				
敷金	9,000	0	0	9,000
小 計	9,000	0	0	9,000
合 計	100,749,005	360,000	0	101,109,005

4 担保に供している資産 該当事項なし

5 減価償却資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 該当事項なし

6 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の期末残高 該当事項なし

7 保証債務 該当事項なし

8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益  
\*評価額は、令和5年3月31日時点における証券会社の評価・算定価格である。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	*評価額	評価損益
共同地方債 139回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,360,000	360,000
共同地方債 149回共同発行市場公募地方債	50,000,000	50,525,400	525,400
合 計	100,000,000	100,885,400	885,400

9 負担金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
負担金	柏崎市	0	5,700,000	5,700,000	0
委託金	(公財)新潟県国際交流協会	0	150,000	150,000	0
合 計		0	5,850,000	5,850,000	0

10 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
事業費への充当額	4,900,000
管理費への充当額	950,000
合 計	5,850,000

11 関連当事者との取引の内容 該当事項なし